

市野新田ダム盛立完了式を行いました

柏崎周辺農業水利事業所

2017年11月21日、霏々として降る早雪の中、新潟県柏崎市で施工が進む市野新田ダム第二期建設工事において、堤体盛立完了式が行われました。

式には当事業所職員や(株)フジタ等工事関係者の他、地元ダム対策協議会や県、市、土地改良区等の関係機関約40名が参列し、神事では、三富柏崎土地改良区理事長、新潟県柏崎地域振興局大平部長、地元ダム対策協議会メンバー、当事業所鈴木所長、(株)フジタ市野新田ダム作業所坂元所長らが玉串を奉奠しました。

続いて、盛立完了式が行われ、挨拶のあと、参列者が見守る中、最終盛立の合図とともに材料が投入され、敷均し、締固めされると、大きな拍手が沸き起こりました。

最後に三富理事長のご発声により、全員で万歳三唱し、盛立完了を祝いました。



神事の様子



最終盛立の様子

市野新田ダムは堤高26.7m、堤頂長199.0m、堤体積166千 m^3 の傾斜遮水ゾーン型フィルダムで平成28年9月からコア盛立を開始し、約1年の歳月をかけ、地元集落をはじめ、関係各位のご理解とご協力により、11月6日に無事に堤体盛立工事の完了を迎えることができました。

今後、放流設備の工事やダム管理設備の整備を行った後、平成30年12月から試験湛水を行い、平成31年度内に完成する予定です。



上流側より望む